

雪浦に「通り名」プレートが設置されました

西海市雪浦で進めている「通り名」プロジェクトでは、2月23日に「通り名」プレートの設置を行いました。

プレートは雪浦ウィーク実行委員会の皆さんが木材を加工し、デザインと製作は同じく雪浦ウィーク実行委員会メンバーで画家のタナカタケシさんが担当され、とても素敵なプレートが完成しました。



【景観にマッチした温もりのある「通り名」が設置され、地域の方もとても喜んでおられます。是非、雪浦へお越し下さい。】

通り名で「えべっさん」を探せ！ウォークラリー in 諫早

2月28日（日）、諫早市で通り名で「えべっさん」を探せ！ウォークラリーを開催しました。

昨年度、諫早市では「通り名」プロジェクトを実施し、24の通りに名前を付けました。今年度は、この「通り名」を活用してまちを活性化させようと、道守諫早地区世話人の中野勝利さんの呼びかけで、町内会長さんや商店街、商工会、諫早史談会、長崎ウエスレヤン大学、行政などで「えべっさん実行委員会」を立ち上げ、今回のイベントを開催しました。

「通り名」を利用して7体のえべっさん（恵比寿像のことを地元では親しみを込めてこう呼んでいます）を探し、そこで出題されるご当地クイズに答えるというウォークラリーで、市内外から約50名が参加しました。この日はお天気にも恵まれ、皆さん笑顔で地域の人たちとふれ合いながら、ウォークラリーを楽しんでいました。



【チェックポイントでは、ご当地クイズが出題されました。地域の方とふれ合いながら、諫早の歴史や通り名の由来を学びました。】



【次のポイントはどこかな～？】

【えべっさん登場！クイズの全問正解者に豪華賞品が贈呈されました。】

【「町おこし」を願って、諫早銘菓「おこし」が参加者に振る舞われました。】

小浜温泉57による「田んぼの学校」の取り組みを紹介しします

雲仙市小田山は、^{おたやま} 棚田の狭間を金浜川が流れ、棚田と里山に囲まれたとても静かな美しい地域です。平成18年度、地域活性化のための取り組みとして、小田山地区の「^{やまびに}山彦の会」が中心となって『田んぼの学校』を設立しました。「小浜温泉57」、小浜小学校、長崎大学環境科学部などと連携し、年間を通して農業体験や生き物調査を実践しています。



風景街道「ながさきサンセット・オーシャンロード」景観診断バスツアー

平成22年2月18日、風景街道「ながさきサンセット・オーシャンロード」の景観診断バスツアーが開催されました。景観診断バスツアーとは、沿道景観や海の眺めの良いところ、改善した方がよいところなどについて、現地を視察しながら話し合い、さらに良くするにはどのような取り組みをするかを考えていくもので、今回初めて実施されました。

景観診断バスツアーには、推進協議会メンバーやボランティアガイドなど22名が参加し、長崎市手熊町から西海市雪浦までの風景街道沿線の5つのポイントや車上から景観のチェックを行いました。



【景観診断スタート】 【良い点・悪い点等をチェック】 【こんなに美しい風景もあれば…】 【ゴミが散乱している所も…】

【ワークショップ】

《ワークショップで挙げられた主なご意見》

【良い点】

- ・海や夕日が美しい
- ・珍しい地形があり興味深い

【悪い点】

- ・ゴミが多く汚い
- ・投げ捨て禁止の看板が景観を損ねている
- ・ガードレールやポケットパークの柵が重く冷たい印象を与える

【改善点・今後の取り組み案】

- ・ルート全体を通した統一のサインの設置
- ・ルート一斉清掃の実施
- ・殺風景なポケットパークに花壇をつくる
- ・地形や民話を説明した案内板の設置

今回挙げられた意見は、来年度の取り組みに反映させていただきます。

佐世保中央 I.C で「100年の森 植樹祭」

平成22年2月14日（日）、西九州自動車道佐世保中央 I.C（インター・チェンジ）で『100年の森 植樹祭』が開催されました。西九州自動車道の I.C では今回が3回目となった『100年の森 植樹祭』ですが、この取り組みへの関心が高まっているようで、佐世保市民はもちろん佐賀県・福岡県からも多数参加され、約700名がシヤタバなどの苗木7500本を植樹しました。

佐世保みなと I.C ～相浦中里 I.C 間が、3月20日に開通します。市民が心を込めて植えた樹木がどのような森に育っていくのか、西九州自動車道を通る楽しみの一つになりそうです。



【佐世保市の朝長市長も参加】



植樹後の I.C

【植樹前のようす】 【小さな子どもたちも、寒い中頑張って植えてくれました。】 【どんな森に育っていくのかな…】